

全日信販がAMDA支援を目的に カード発行

利用額の0.5%寄付、年間5,000万円にも

全日信販(株)(AJ)は、岡山に本部を置き、アジア15カ国に支部を持つNGOとして、日本やアジア各国で活躍するAMDA(アジア医師連絡協議会)のボランティア活動に対する援助金として、同社発行のクレジットカードの売上金の一部を寄付することになった。

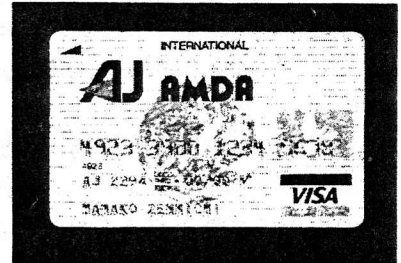
これは社会貢献を考えてきた全日信販が、同郷のAMDAが欧米ボランティアにも優るとも劣らない活動を展開していること、それも岡山という地方で十分な実績を

上げていることから、AMDA支援の一助として、「AMDAカード」を発行することにしたもので、「AMDA」の活動を通じて、社会貢献(ボランティア活動の支援)を実現する会員の募集と資金援助とを行うことを目的としている。

資金援助方法は、「AMDAカード」をAJの加盟店で使用した場合およびキャッシングを利用した場合、利用金額の0.5%を援助金(AJ負担)として提供するシステムで、資金援助金についての協

賛法人および賛助会員の負担は一切ない。

現在、AJ会員は40万人を数えるが、これに10万人のVISA附加の会員がおり、AJ利用の場合は0.5%、VISA利用の場合は0.1%が「AMDA」へ援助金として提供されることから、会員の拡大、既存会員の更新等によって、5年後には年間5,000万円程度の援助金が全日信販からAMDAへ供与される見通しである。



全日信販発行の「AMDAカード」

☆AMDA活動速報 レバノン緊急救援

4月26日ペイルート入り。レバノン赤十字と会合の後、同日から診療活動開始。赤十字の巡回診療チームとともにペイルート郊外の小学校(避難民約350人収容)へ。小児の下痢、かぜ、慢性疾患、打撲、骨折等の患者を赤十字のボランティア医師とともに診療。

翌27日、停戦。赤十字と停戦後の方針を再度協議・検討。

[避難民の状況]

避難民の数は40~50万人と想定されるが赤十字も調査中。正確な数字は不明。全学校は閉鎖されており、数万人は収容されているが他は不明。赤十字は1,000人以上のボランティアを動員し、組織・計画的に援助活動を実施中。停戦後は急速に帰還が進むものと思われる。

[今後の活動について]

南部レバノンの病院を拠点に活動するか、あるいは孤立した地区に焦点を当て活動する方向。

☆第15回森を育てる週末実習隊自然体験キャンプ開催

山梨県清里高原において自然体験型のキャンプが財団法人キープ協会環境教育事業部によって開催される。

日時：7月6日(土)~7日(日)

(1泊2日)

定員：20名

参加費：10,000円(学生8,000円)

申込方法：FAX かハガキにてキャンプ名(第15回森を育てる週末実習隊)と書き、①名前②住所(郵便番号も)③電話番号④年齢⑤性別⑥参加の動機、期待していること、を記入

申込先：キープ・フォレストー

ズ・スクール 大嶽・角南・前沢
〒407-03 山梨県北巨摩郡高根町
清里3545

TEL. 0551-48-3795

FAX. 0551-48-3228

☆海外大学留学ガイダンス の開催

国際開発学会大学院生部会

国際開発学会大学院生部会(主査：齋藤淳)は、6月22日(土)午後1時から早稲田大学7号館小野講堂で「国際協力ガイダンス~海外大学留学編」を開催する。

ガイダンスでは、米コーネル大学などをはじめとする英米大学院の現役院生による大学院紹介、院生部会会員による留学準備体験談などが予定されている。講師は現在交渉中。参加費(資料代含む)500円。

詳細はTEL/FAX 0424-99-2058(担当：安田)まで。